

ESPRIMO Edge Computing Edition Z0110/W

取扱説明書

製品を確認してください

梱包箱から製品を取り出し、製品が揃っていることを確認してください。万一、足りないものがあった場合は、おそれりますが、ご購入元にご連絡ください。

記載している添付品とは別に、注意書きの紙などが入っている場合があります。すべて大切に保管してください。

標準添付品 <small>注1</small>	
<input type="checkbox"/> 取扱説明書（本書）	<input type="checkbox"/> エッジコンピューティングデバイス（製品本体） <small>注2</small>
<input type="checkbox"/> 保証書	<input type="checkbox"/> サポート書 <input type="checkbox"/> フェライトコア <input type="checkbox"/> DP-HDMI 変換ケーブル
<input type="checkbox"/> Windows Update 運用最適化モデル 運用管理ツール ソフトウェアディスク	
カスタムメイド添付品（選択された構成により添付されます）	
<input type="checkbox"/> リカバリ USB メモリ	<input type="checkbox"/> VESA マウント（製品本体底面カバー） <small>注3</small>

注1: 本製品には、ディスプレイ、キーボード、マウスは添付されておりません。
セットアップに必要なためご準備ください。

注2: 電源ケーブルやコンピューター部分とアクセスポイント部分を接続する専用ケーブルが接続されています。専用ケーブルについては、「専用ケーブルについて」（→ P.7）をご覧ください。

注3: カスタムメイドで VESA マウントを選択した場合、ご購入時に VESA マウントが取り付けられています。また、製品本体から取り外された底面カバーが添付されています。

マニュアルについて

●取扱説明書（本書）

本製品の添付品一覧と安全上のご注意や使用上のご注意を説明しています。本製品を導入および使用する前に必ず本書を読んでください。

●導入ガイド

本製品の機能紹介、システム運用開始までの流れ、本製品の設置方法、アプリのインストールや設定方法など本製品をお使いいただくまでに必要なセットアップ情報を説明しています。また、BIOS 設定などの技術情報のほか、導入時のトラブルが発生したときの対処を説明しています。このマニュアルは、本製品のシステム設計担当者とシステム導入担当者を対象としており、コンピューター、OS、およびネットワークについて基本的な知識を有している方がご覧になることを前提としています。

●管理ガイド

添付アプリの操作方法、本製品のバックアップと復元方法、本製品のお手入れに関する情報を説明しています。また、システム運用・管理で発生したトラブルの対処を説明しています。このマニュアルは、システム管理者を対象としており、コンピューター、OS、およびネットワークについて基本的な知識を有している方がご覧になることを前提としています。

●Windows Update 運用最適化モデル 運用管理ツール セットアップガイド

Windows Update 運用最適化モデル 運用管理ツールの設定方法を説明しています。

このマニュアルは、本製品のシステム設計担当者、システム導入担当者、システム管理者を対象としており、コンピューター、OS、およびネットワークについて基本的な知識を有している方がご覧になることを前提としています。

●Windows Update 運用最適化モデル 運用管理ツール ユーザーガイド

Windows Update 運用最適化モデル 運用管理ツールの使い方を説明しています。

このマニュアルは、システム管理者を対象としており、コンピューター、OS、およびネットワークについて基本的な知識を有している方がご覧になることを前提としています。

●Windows Update 運用最適化モデル 運用管理ツール リモード操作ガイド

Windows Update 運用最適化モデル 運用管理ツールでリモート管理するための操作方法を説明しています。

このマニュアルは、システム管理者を対象としており、コンピューター、OS、およびネットワークについて基本的な知識を有している方がご覧になることを前提としています。

このマニュアルはリサイクルに配慮して印刷されています。
不要になった際は、回収・リサイクルにお出しください。



* B 6 F Y - 5 0 0 1 - 0 1 *

●アクセスポイント操作ガイド

本製品のアクセスポイント部分の設定方法を説明しています。このマニュアルは、本製品のシステム設計担当者、システム導入担当者、システム管理者を対象としており、ネットワークについて基本的な知識を有している方がご覧になることを前提としています。

マニュアルは、改善のため変更することがあります。

上記のマニュアルは、インターネットで最新版を公開しています（マニュアルのほか、お使いになるうえでの注意事項などのサポート情報を公開しています）。

<https://www.fmworld.net/biz/fmv/support/fmvmanual/>

お使いになる前に

安全にお使いいただくために

このマニュアルには、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、「安全上のご注意」（→ P.4）をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。また、このマニュアルは、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

保証書について

- 保証書は、必ず必要事項を記入し、内容をよくお読みください。その後、大切に保管してください。
- 修理を依頼される場合には、必ず保証書をご用意ください。
- 保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。
- 保証期間内でも、保証書の提示がない場合や、天災あるいは無理な使用による故障の場合などには、有料での修理となります。ご注意ください（詳しくは、保証書をご覧ください）。
- 修理後は、本製品の内容が修理前とは異なり、ご購入時の状態や、何も入っていない状態になっている場合があります。大切なデータは、バックアップをとり、保管しておいてください。
- 本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するため必要な部品）の保有期間は、製造終了後5年です。

本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的な用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。

お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。

ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

・原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

使用許諾契約書

本製品にインストール、または添付されているソフトウェアをご使用いただく権利をお客様に対して許諾するにあたり、ご同意いただくなことを使用の条件とさせていただいている「ソフトウェアの使用条件」は、本製品内のハードディスクに格納しています。

ご覧になりたい場合は、ファイルの検索で「OEMEULA.rtf」を検索してください。

データのバックアップについて

本製品に記録されたデータ（基本ソフト、アプリケーションソフトも含む）の保全については、お客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。また、修理を依頼される場合も、データの保全については保証されませんので、事前にお客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。

データが失われた場合でも、弊社ではいかなる理由においても、それに伴う損害やデータの保全・修復などの責任を一切負いかねますのでご了承ください（大切なデータは日ごろからバックアップをとされることをお勧めします）。

マイクロソフトソフトウェアライセンス条項

本製品にインストール済みのオペレーティングシステムは、エンベデッドシステム向けのライセンスに基づきご提供するものです。

「マイクロソフトソフトウェアライセンス条項」をご確認のうえ、ご使用をお願いします。

ライセンス条項は次の手順で確認できます。

1. 「スタート」ボタンをクリックします。
2. 「設定」をクリックします。
3. 「システム」をクリックします。
4. 「バージョン情報」をクリックします。
5. 「マイクロソフトソフトウェアライセンス条項を読む」をクリックします。

無線 LAN について

5GHz 帯のチャンネルについて

IEEE802.11b/g/n

IEEE802.11a/n/ac

W52 W53 W56

IEEE 802.11a/b/g/n/ac 準拠の無線 LAN を搭載した機種では、5GHz の周波数帯において、次のチャンネルを使用できます。

- W52 : 36(5,180MHz)/40(5,200MHz)/44(5,220MHz)/48(5,240MHz)
- W53 : 52(5,260MHz)/56(5,280MHz)/60(5,300MHz)/64(5,320MHz)
- W56 : 100(5,500MHz)/104(5,520MHz)/108(5,540MHz)/112(5,560MHz)/116(5,580MHz)/120(5,600MHz)/124(5,620MHz)/128(5,640MHz)/132(5,660MHz)/136(5,680MHz)/140(5,700MHz)

5GHz 帯を使用する場合は、上記チャンネルを利用できる無線 LAN 製品とのみ通信が可能です。

アドホック通信では 5GHz 帯を使用できません。

40MHz, 80MHz 帯域幅のモードを使用する場合、上記チャンネルをボンディングして使用します。

無線 LAN について

2.4 DS/OF 4

上記表示の 2.4GHz 帯を使用している無線設備は、全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。変調方式として DSSS 変調方式および OFDM 変調方式を採用しており、干渉距離は 40m です。

本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

- 1 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止したうえ、ご購入元にご連絡いただき、混信回避のための置きなど（例えは、パーティションの設置など）についてご相談してください。

本製品は、日本国内での無線規格に準拠し、認定を取得しています。日本国内でのみお使いいただけます。また、海外でご使用になると罰せられることがあります。

本製品と通信相手の機器との推奨する最大通信距離は、IEEE 802.11a 準拠では見通し半径 15m 以内、IEEE 802.11b 準拠、IEEE 802.11g 準拠では見通し半径 25m 以内、IEEE 802.11n 準拠、IEEE 802.11ac 準拠では見通し半径 50m 以内となります。ただし、無線 LAN の特性上、ご利用になる建物の構造・材質・障害物・ソフトウェア、設置状況・電波状況などの使用環境により通信距離は異なります。また、通信速度の低下や通信不能となる場合もありますのであらかじめご了承ください。

IEEE 802.11g 準拠と IEEE 802.11b 準拠の無線 LAN の混在環境においては、IEEE 802.11g 準拠は IEEE 802.11b 準拠との互換性をとるため、IEEE 802.11g 準拠本来の性能が出ない場合があります。IEEE 802.11g 準拠と IEEE 802.11b 準拠を別のネットワークにし、使用しているチャンネルの間隔を 5 チャンネル以上あけてお使いください。

本製品に内蔵の無線 LAN を 5.2/5.3GHz 帯でご使用になる場合、電波法の定めにより屋外ではご利用になれません（法令により許可された場合を除く）。

航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

本製品は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。

（社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格に基づく表示）

本製品は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品です。

24 時間以上の連続使用について

本製品は、長寿命電源や長寿命ディスク、長寿命 CPU ファンを使用しているため、24 時間以上連続してお使いいただけます（部品寿命の場合、有償修理となりますので別途保守契約が必要となります）。

有寿命部品について

本製品には、有寿命部品が含まれています。有寿命部品は、使用時間の経過に伴って摩耗、劣化などが進行し、動作が不安定になる場合がありますので、本製品をより長く安定してお使いいただくために、一定の期間で交換が必要となります。

有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や使用環境などにより異なりますが、1 日約 8 時間、1 ヶ月で 25 日のご使用で約 5 年です。なお、この期間はあくまでも目安であり、この期間内に故障しないことをお約束するものではありません。また、長時間連続使用など、ご使用状態によっては、この目安の期間よりも早期に部品交換が必要となる場合があります。

本製品に使用しているアルミニウム電解コンデンサーは、寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液の漏れや枯渇が生じ、異臭の発生や発煙の原因となる場合がありますので、早期の交換をお勧めします。

摩耗や劣化などにより有寿命部品を交換する場合は、保証期間内であっても有料となります。なお、有寿命部品の交換は、当社の定める補修用性能部品単位での修理による交換となります。

本製品をより長く安定してお使いいただくために、省電力機能の使用をお勧めします。また、一定時間お使いにならない場合は電源をお切りください。

＜主な有寿命部品一覧＞
フラッシュメモリディスク（SSD）、ファン

本書の表記

本書の記号

本書に記載されている記号には、次のような意味があります。

 重要	お使いになるときの注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
 POINT	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
→	参照ページを示しています。

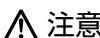
製品の呼び方

本書では、製品名称を次のように略して表記します。

製品名称	本書の表記
ESPRIMO Edge Computing Edition Z0110/W	本製品
	エッジコンピューティングデバイス

警告表示について

このマニュアルでは、いろいろな絵表示を使っています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようにになっています。内容をよく理解のうえ、お読みください。

	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の絵表示と同時に次の記号を使っています。

	△で示した記号は、警告・注意をうながす内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
	○で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

商標および著作権について

HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing, LLC の商標または、登録商標です。



HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。
その他の各製品は、各社の著作物です。

その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

Copyright FUJITSU LIMITED 2020

安全上のご注意

本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、必ずお読みになり、正しく安全に、大切に取り扱ってください。また、本製品をお使いになるとときは、マニュアルをよくお読みになり、正しくお使いください。

■ 設置

△ 警告

 コンセントの近くに設置し、電源プラグに容易に手が届くようにしてください。
万一の場合に、電源プラグが抜けなくなり、危険につながるおそれがあります。

 梱包に使用している袋類は、お子様の手の届く所に置かないでください。
口に入れたり、頭にかぶったりすると、窒息の原因になります。

 台に設置して使う場合は、台からはみ出したり、片寄ったりしないように載せてください。
本製品が落ちたり、倒れたりして、けが、故障の原因になります。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。

 転倒防止の処置をしてください。
地震が発生した場合などに、本製品が倒れたり、落下したりして、けが、故障の原因になります。設置台や床、壁などとの間に適切な転倒防止の処置を行ってください。

 振動している場所や傾いた所などの不安定な場所に置かないでください。
本製品が倒れたり、落下したりして、けがの原因となります。

 本製品を風通しの悪い場所、火気のある場所、引火性ガスの発生する場所で使用したり、置いたりしないでください。
感電、火災の原因となります。

 矩形波が出力される機器（UPS（無停電電源装置）や車載用 AC 電源など）に接続しないでください。
火災の原因となることがあります。

 本製品や周辺機器のケーブル類の配線にご注意ください。
ケーブルに足を引っかけ転倒したり、本製品や周辺機器が落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因になります。

 電源ケーブルは、指定された電圧（100V）のコンセントに直接かつ確実に接続してください。
不完全な接続状態で使用すると、感電、火災の原因になります。

 タコ足配線をしないでください。
感電、火災の原因になります。

 アース線はガス管には絶対に接続しないでください。
火災の原因になります。

 ぬれた手で電源ケーブルを抜き差ししないでください。
感電の原因になります。

 ケーブル類を束ねた状態で使用しないでください。
発熱して、火災の原因になります。

△ 注意

 本製品を調理台や加湿器のそばなどの油煙や湯気の多い場所や、ほこりの多い場所などで使用したり、置いたりしないでください。
感電、火災の原因になることがあります。

 本製品を直射日光があたる場所、閉めきった自動車内、ストーブのような暖房器具のそば、ホットカーペットの上で使用したり、置いたりしないでください。
感電、火災、故障の原因になります。



本製品を移動する場合は、次の点にご注意ください。

電源ケーブルが傷つき、感電、火災の原因となつたり、本製品が落下したり倒れたりして、けがの原因になります。

- ・電源ケーブルをコンセントから抜いてください。
- ・接続されたケーブルなどを外してください。
- ・作業は足元に充分注意して行ってください。
- ・外部アンテナを持って移動しないでください。
- ・外部アンテナに無理な力を加えないでください。
- ・電源ケーブルカバーを持って、移動しないでください。
- ・電源ケーブルカバーに無理な力を加えないでください。



本製品を設置するときは、電源ケーブルカバーに触らないでください。

本製品（電源ケーブルカバー）と設置場所（テーブルや台など）の間に手や指をはさみ、けがの原因になります。

■ 使用中



火中に投入、加熱しないでください。
発煙、発火、破裂の原因になります。



端子をショートさせないでください。
感電、火災の原因になります。



発熱や煙、異臭や異音がするなどの異常が発生したときは、ただちに電源プラグをコンセントから抜いてください。

異常状態のまま使用すると、感電、火災の原因になります。その後、異常な現象がなくなるのを確認して、ご購入元にご連絡ください。



落としたり、カバーなどを破損したりした場合は、電源を切り、電源ケーブルを抜いてください。

そのまま使用すると、感電、火災の原因になります。その後、ご購入元にご連絡ください。



開口部（通風孔など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。

感電、火災の原因になります。



本製品や本製品を設置している台にぶら下がったり、上に乗ったり、寄りかかったりしないでください。

本製品が落ちたり、倒れたりして、けが、故障の原因になります。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。



排気孔付近など、本製品の温度が高くなる場所に長時間直接触れて使用しないでください。

排気孔からの送風に長時間あたらないでください。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。低温やけどの原因になります。



風呂場やシャワー室など、水のかかるおそれのある場所で使用したり、置いたりしないでください。
感電、火災の原因になります。



本製品の上や周りに、花びんやコップなど液体の入ったものを置かないでください。

水などの液体が本製品の内部に入つて、感電、火災の原因になります。



使用中の本製品に、ふとんや布などをかけないでください。通風孔がある場合は、ふさがないでください。

通風孔が詰まりないように、掃除機などで定期的にほこりを取ってください。内部に熱がこもり、火災の原因になります。



本製品や周辺機器のケーブル類に、お子様が容易に触れないようにしてください。

誤って首に巻きつけると窒息の原因になります。



電源ケーブルが傷ついている場合は使用しないでください。

感電、火災の原因になります。



電源ケーブルの接続部分に、ドライバーなどの金属を近づけないでください。

感電、火災の原因になります。



ケーブル類は、傷つけたり、加工したり、加熱したり、重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。

感電、火災の原因になります。



電源ケーブルを抜くときは、コード部分を引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜いてください。

ケーブル類が傷つき、感電、火災の原因になります。



無線 LAN の注意

次の場所では、本製品の電源を切るなどして、無線通信機能を停止してください。

無線機器からの電波により、誤動作による事故の原因となります。

- ・病院内や医療用電子機器のある場所
特に手術室、集中治療室、CCU（冠状動脈疾患監視病室）などには持ち込まないでください。
- ・航空機内など無線通信機能の使用を禁止されている場所
- ・自動ドア・火災報知機など自動制御機器の近く
- ・身動きが自由に取れない状況など、植込み型医療機器（心臓ペースメーカーなど）を装着している方と密着する可能性がある場所



本製品を移動する場合は、電源ケーブルを束ねて持つてください。そのとき、無理に曲げたり、ねじったりせず、無理なく曲がる程度に束ねてください。

電源ケーブルを伸ばしたまま移動すると、足を引っかけたり、床に引っかけたりしてけがの原因になります。



本製品の電源ケーブルカバーが変形している場合は、使用しないでください。

けがの原因になります。また、電源ケーブルが正常に接続されず、感電、火災、故障の原因になります。



注意



本製品の上に重いものを置かないでください。

けがの原因となることがあります。

 指定外の機器を本製品のアウトレットに接続して電源をとらないでください。
火災、故障の原因になります。

 本製品の電源ケーブルカバーを無理に取り外したり、分解したりしないでください。
電源ケーブルが傷つき、感電、火災の原因になります。

 本製品の電源ケーブルカバーには触れないでください。
手や指をはさみ、けがの原因になります。

■メンテナンス／増設

⚠ 警告

 お客様ご自身で修理、改造しないでください。また、マニュアルなどで指示がある場合を除いて分解しないでください。
火災の原因になります。修理や点検などが必要な場合は、ご購入元にご連絡ください。

 取り外したカバー、キャップ、ネジ、電池などの部品は、お子様の手の届く所に置かないでください。
誤って飲み込むと窒息の原因になります。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

 カバーおよび可動部を開ける場合は、お子様の手が届かない場所で行ってください。
作業が終わるまでは人が本製品から離れないようにしてください。お子様が手を触ると、けが、故障の原因になります。

 メモリの取り付け、取り外しやお手入れのときなど、カバーを開ける場合は、本製品および接続されている機器の電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いた後、しばらくたってから行ってください。

カバーを開けた状態で電源ケーブルをコンセントに挿し込んだり、電源を入れたりしないでください。
やけど、感電、火災の原因になります。

 清掃するときに、清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）を使用しないでください。
故障、火災の原因となります。

 本製品の内部に搭載されているリチウム電池には触らないでください。
取り扱いを誤ると、人体に影響を及ぼすおそれがあります。リチウム電池はご自身で交換せずに、ご購入元にご相談ください。

 電源ケーブルはコンセントから定期的に抜いて、接続部分のほこりやゴミを乾いた布でよく拭き取ってください。

ほこりがたまつたままの状態で使用すると感電、火災の原因になります。1年に一度は点検清掃してください。特に電源プラグ部分についてほこりがたまりやすいので、ご注意ください。

 内蔵オプションや周辺機器の取り付け／取り外し、お手入れなどを行うときは、本製品および接続されている機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。

故障、感電、火災の原因になります。

 周辺機器のケーブルは、本製品や周辺機器のマニュアルをよく読み、正しく接続してください。
誤った接続状態でお使いになると、感電、火災の原因になります。また、本製品および周辺機器が故障する原因になります。

⚠ 注意

 周辺機器などの取り付け、取り外しを行うときは、指定された場所以外のネジは外さないでください。
けが、故障の原因になります。

 本製品内部の突起物、および指定された部品以外には、手を触れないでください。
けが、故障の原因になります。

 電源を切った直後は、本製品の内部が高温になっています。
メモリや拡張カードなどの内蔵オプションを取り付け／取り外す場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後、充分に温度が下がるのを待ってから作業を始めてください。
やけどの原因になります。

 内蔵オプションや周辺機器の取り付け／取り外し、お手入れなどを行うときは、指をはさんだり、ぶつけたりしないように注意してください。
けがの原因になります。

 本製品の電源ケーブルカバーを無理に取り外したり、分解したりしないでください。
電源ケーブルが傷つき、感電、火災の原因になります。

 本製品の電源ケーブルカバーには触れないでください。
手や指をはさみ、けがの原因になります。

■異常時

⚠ 警告

 本製品の内部に水などの液体や金属片などの異物が入った場合は、すぐに本製品の電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。
そのまま使用すると、感電、火災の原因になります。その後、ご購入元にご連絡ください。

 雷が鳴り出したときは、落雷の可能性がなくなるまで本製品やケーブル類に触れないでください。
ケーブル類の接続作業は、落雷の可能性がなくなるまで行わないでください。

落雷の可能性がある場合は、あらかじめ本製品の電源を切り、その後電源ケーブルをコンセントから抜き、ケーブル類を取り外しておいてください。
落雷による故障、感電、火災の原因になります。

 電池が液漏れし、漏れ出た液が万一、目や口に入ったときは、こすらず水道水などの多量のきれいな水で充分に洗った後、すぐに医師の治療を受けてください。

失明など障害の原因になります。
液が皮膚や衣類に付着したときは、ただちに水でよく洗い流してください。皮膚に障害を起こす原因になります。

⚠ 注意

△ カバーや部品などが破損・脱落した場合は、使用を中止し、ご購入元にご連絡ください。
破損した製品や破片によるけがや故障の原因になります。
特にお子様が近くにいる場合はご注意ください。

■ 保管／破棄

△ 注意

△ 本製品を長期間使用しないときは、安全のため電源ケーブルをコンセントから抜いてください。火災の原因になります。

△ 本製品の廃棄については、マニュアルの説明に従ってください。本製品は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。本製品にはリチウム電池を使用しております。一般的のゴミといっしょに火中に投げられると電池が破裂するおそれがあります。使用済み電池の廃棄については、マニュアルの説明に従ってください。

使用上のご注意

本製品をお使いになるうえでは、「安全上のご注意」(→ P.4) もあわせてご覧ください。

取り扱い上の注意

■ 本製品の取り扱いについて

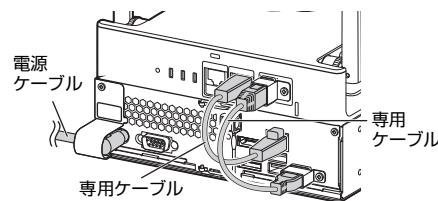
故障の原因となりますので、次の点に注意してください。

- 極端に温度変化が激しい場所でのご使用および保管は避けてください。
- 電源を切った後、すぐに電源を入れないでください。再度電源を入れる場合は、30秒以上待ってから電源を入れてください。
- 電源ケーブルを抜くときは、Windowsを終了させてから抜いてください。
- 電源ランプが消灯してから電源ケーブルを抜いてください。
- BIOSのパスワードを設定するときは、設定したパスワードを忘れないよう注意してください。BIOSパスワードを忘ると、本体が使えなくなり修理が必要となります。
- 「システムのプロパティ」ウィンドウの「詳細設定」タブで、「パフォーマンス」の「設定」の項目は、初期設定のままお使いください。
- 周辺機器は、弊社純正品をお使いください。
- 使用時は外部アンテナを立てた状態でお使いください。
- 外部アンテナをつかんで持ち上げないでください。
- 外部アンテナを逆方向に折り曲げたり、無理な力を加えたりしないでください。
- 電源ケーブルにフェライトコアを取り付けてお使いください。

専用ケーブルについて

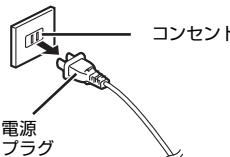
●ご購入時に、本製品には、次の専用ケーブル(3本)が接続されています。この専用ケーブルは抜かないでください。

- ・コンピューター部分の電源ケーブル
- ・アクセスポイント部分の電源供給用USBコネクタに接続している専用ケーブル
- ・コンピューター部分とアクセスポイント部分のLANコネクタを接続している専用ケーブル



落雷のおそれがあるときの注意

落雷の可能性がある場合は、本体の電源を切るだけでなく、電源プラグをコンセントから抜くことや、専用ケーブル以外のすべてのケーブルを抜くことをお勧めします。なお、専用ケーブルは取り外ししないでください。



また、雷が鳴り出したら、本体やケーブル類、およびそれらにつながる機器に触れないでください。安全のため、避雷器の設置をお勧めします。

落雷には、直撃雷と誘導雷の2種類がありますが、本体の故障は主に誘導雷によって起こります。雷により周囲に強力な電磁場ができると発生し、電線や電話線などから侵入するのが誘導雷です。本製品の場合、電源ケーブル、外部機器との接続ケーブル、電話線(モジュラーケーブル)、LANケーブルなどからの誘導雷の侵入が考えられます。誘導雷を防ぐにはケーブル類を抜くなどの対策が必要です。

直撃雷は避雷針によって雷を誘導して対象物を保護できますが、避雷器の許容値を超えた非常に大きな雷を受けた場合には、避雷器を用いても本製品を保護できないことがあります。

場合によっては、本体だけでなく、周辺機器などが故障することもあります。落雷による製品本体の故障は、保証期間内でも有償修理となります。故障の状況によっては、修理費用が高額になることもあるので、ご注意ください。

リサイクルについて

本製品の廃棄については、富士通のホームページ「ICT 製品の処分・リサイクル方法」(<https://www.fujitsu.com/jp/about/environment/society/recycleinfo/>) をご覧ください。

お問い合わせ先

インターネット上のマニュアルをご覧になつても不明な点がございましたらお問い合わせください。
お問い合わせの前に、製品本体のラベルまたは保証書に記載されている、型名 (MODEL)、
製造番号 (SERIAL)、16桁の数字 (0000-0000-0000-0000) または (0000000-00-0000-000) をご確認
ください。

こんなときは	こちらへ
技術的なご質問、 ご相談	ご購入元（販売会社または富士通の担当営業、SE）にご相談ください。 個人のお客様など、ご相談先がご不明の場合は、次の窓口へお問い合わせください。 富士通/パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口 (運営：富士通クライアントコンピューティング株式会社) 通話料無料 0120-950-222 受付時間 9:00～17:00（土曜、日曜、祝日およびシステムメンテナンス日を除く） ※受け付け後に専門技術員からのコールバックとなります。
故障かなと思わ れたとき	富士通ハードウェア修理相談センター https://eservice.fujitsu.com/webrepair/ 「修理ご相談チャット」で24時間いつでも、故障診断、修理費用のご案内から、修理のお申し込みまでできます。 お電話でのご相談が必要な場合は、次におかけください。 通話料無料 0120-422-297 受付時間 9:00～17:00（土曜、日曜、祝日および年末年始を除く）
富士通サプライ 品のご購入	富士通コワーコ株式会社 お客様総合センター 通話料無料：0120-505-279 受付時間：9:00～12:00、13:00～17:30（土曜・日曜・祝日および年末年始を除く） URL： https://www.fujitsu.com/jp/group/coworco/

※サポート内容につきましては、添付のサポート書をあわせてご覧ください。

- おかげ間違いのないよう、ご注意ください。
- 各窓口ともダイヤル後、音声ガイダンスに従い、ボタン操作を行ってください。お客様の相談内容によって、各窓口へご案内いたします。
- システムメンテナンスのため、受付時間であっても受け付けを休止させていただく場合があります。

ESPRIMO Edge Computing Edition Z0110/W

取扱説明書

B6FY-5001-01-00

発行日：2020年5月

発行責任：富士通株式会社

〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター

●このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。

●このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。

●無断転載を禁じます。

●落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。